

第 3 章 回線情報の設定

3.1 回線共通情報

3.1.1 wan line

【機能】

回線インタフェースおよび通信速度の設定

【入力形式】

```
wan [<number>] line isdn (ISDN)
wan [<number>] line hsd <speed> (専用線)
wan [<number>] line fr <speed> (フレームリレー) (オプション)
```

【パラメタ】

<number>

- wan 定義番号
wan 定義番号として、0 を指定してください。
省略した場合は、0 を指定したものとみなされます。

<speed>

- 回線速度
専用線またはフレームリレー利用時の回線速度を以下の範囲で指定します。
64k, 128k

【説明】

wan 定義で利用する回線の、回線種別を設定します。

【注意】

wan [<number>] line fr <speed> は、Si-R30 拡張オプションソフトウェアをインストールしたときに使用できます。

【未設定時】

回線種別として ISDN を設定したものとみなされます。回線種別は必ず設定してください。

```
wan <number> line isdn
```

3.2 ISDN 回線情報

3.2.1 wan isdn global

[機能]

グローバル着信の設定

[入力形式]

```
wan [<number>] isdn global <mode>
```

[パラメタ]

<number>

- wan 定義番号
wan 定義番号として、0 を指定してください。
省略した場合は、0 を指定したものとみなされます。

<mode>

グローバル着信を受け付けるかどうかを指定します。

- accept
グローバル着信を受け付けます。
- reject
グローバル着信を受け付けません。

[説明]

グローバル着信を受け付けるかどうかを設定します。

通常は<mode>に accept を指定してください。ただし、ダイヤルイン番号またはi・ナンバー宛の着信だけを受け付ける場合は reject を指定し、“3.2.2 wan isdn number” で着信を受け付ける着信番号を指定してください。

[未設定時]

グローバル着信を受け付けるものとみなされます。

```
wan <number> isdn global accept
```

3.2.2 wan isdn number

[機能]

自局電話番号の設定

[入力形式]

```
wan [<number>] isdn number <count> <tel_number> [<subaddress>]
```

[パラメタ]

<number>

- wan 定義番号
wan 定義番号として、0 を指定してください。
省略した場合は、0 を指定したものとみなされます。

<count>

着信番号チェックを行う電話番号は、2 組まで設定できます。2 組のうちのどちらを設定するか、番号を指定します。

- 0
着信番号チェックの電話番号 1 を設定します。
- 1
着信番号チェックの電話番号 2 を設定します。

<tel_number>

着信番号チェックを行う電話番号を指定します。

- 電話番号
着信時にチェックする電話番号を、0~9 の数字と、*、#、-、(、)、\ の文字で構成される 32 桁以内の ASCII 文字列で指定します。
- any
着信番号チェックを行わない場合に指定します。
なお、<subaddress>を指定する場合は、<subaddress>だけを着信番号チェックの対象とします。
- in1
i・ナンバーサービス契約時に、i・ナンバー情報 1(契約者回線番号) の着信を受け付ける場合に指定します。
- in2
i・ナンバーサービス契約時に、i・ナンバー情報 2(追加の番号) の着信を受け付ける場合に指定します。
- in3
i・ナンバーサービス契約時に、i・ナンバー情報 3(追加の番号) の着信を受け付ける場合に指定します。

<subaddress>

- サブアドレス
着信時にチェックするサブアドレスを、0x22(ダブルクォーテーション)を除くコードで構成される 19 桁以内の ASCII 文字列で指定します。省略した場合は、サブアドレスをチェックしません。

【説明】

着信番号チェックについて設定します。

ダイヤルイン番号、i・ナンバー、サブアドレスを利用して着信機器を識別するかどうかを、<tel_number>と<subaddress>の組み合わせで指定します。着信番号チェックの電話番号は、2組まで設定できます。

着信時に網から通知される電話番号とサブアドレスが着信番号チェックの電話番号と一致しない場合は、着信を受け付けません。

<tel_number>に any を指定し、かつ<subaddress>を指定した場合は、<subaddress>だけが着信番号チェックの対象となります。また、<tel_number>に any を指定し、<subaddress>が未指定の場合は、着信番号チェックをしません。

i・ナンバーサービス契約時は、<tel_number>に in1、in2、または in3 のいずれかを指定してください。

【未設定時】

着信番号チェックを行わないとみなされます。

```
wan <number> isdn number 0 any
```

3.2.3 wan isdn numbersend

【機能】

発信者番号通知の設定

【入力形式】

```
wan [<number>] isdn numbersend <mode> [<tel_number> [<subaddress>]]
```

【パラメタ】

<number>

- wan 定義番号
wan 定義番号として、0 を指定してください。
省略した場合は、0 を指定したものとみなされます。

<mode>

発信者番号の通知形態を指定します。

- specified
<tel_number>および<subaddress>で指定する電話番号を、発信者番号として通知します。
- default
網契約に従います。回線の加入契約で選択した内容の設定になります。
- off
接続先に発信者の電話番号を通知しません。

以下のパラメタは、<mode>に specified を設定した場合にだけ有効です。

<tel_number>

<mode>に specified を設定した場合、必ず以下のいずれかを指定してください。

- 通知電話番号
発信者番号として通知する電話番号を、0~9 の数字と、*、#、-、(、)、\ の文字で構成される 32 桁以内の ASCII 文字列で指定します。
- in1
発信者番号として、i・ナンバー情報 1 を通知します。
- in2
発信者番号として、i・ナンバー情報 2 を通知します。
- in3
発信者番号として、i・ナンバー情報 3 を通知します。

<subaddress>

- サブアドレス
発信者番号の一部として通知するサブアドレスを、0x22(ダブルクォーテーション)を除くコードで構成される 19 桁以内の ASCII 文字列で指定します。省略した場合は、サブアドレスを通知しません。

【説明】

発信者番号を通知するかどうかを設定します。また、通知する場合の、通知番号を設定します。

【未設定時】

網契約に従うとみなされます。

```
wan <number> isdn numbersend default
```

3.2.4 wan isdn limit charge

【機能】

上限課金額による (発呼抑止) 条件の設定

【入力形式】

```
wan [<number>] isdn limit charge <charge> [<diallock>]
```

【パラメタ】

<number>

- wan 定義番号
wan 定義番号として、0 を指定してください。
省略した場合は、0 を指定したものとみなされます。

<charge>

- 上限課金額
自動発信を制限する上限課金額を、0 ~ 999999 の 10 進数値 (単位:円) で指定します。0 を指定した場合は、課金額による自動発信制限を行いません。

<diallock>

自動発信を制限するかどうかを指定します。

- yes
上限課金額に達した場合に、以降の自動発信を制限します。
ただし、回線の手動接続は、制限の対象外となります。
- no
上限課金額に達した場合に、以降の自動発信を制限しません。
省略した場合は、yes を指定したものとみなされます。

【説明】

データ通信において、通信課金の累計が上限課金額に達した場合に、自動発信を制限するかどうかを設定します。

<diallock>の指定内容にかかわらず、<charge>で指定した上限課金額を超えて自動発信しようとした場合は、syslog が採取されます。

【未設定時】

課金額による自動発信制限を行わないとみなされます。

```
wan <number> isdn limit charge 0 yes
```

3.2.5 wan isdn limit time

【機能】

上限通信時間による (発呼抑止) 条件の設定

【入力形式】

wan [<number>] isdn limit time <time> [<diallock>]

【パラメタ】

<number>

- wan 定義番号
wan 定義番号として、0 を指定してください。
省略した場合は、0 を指定したものとみなされます。

<time>

- 上限接続時間
自動発信を制限する接続時間の上限時間を、0 秒 ~ 999 時間の 10 進数値で指定します。単位は、d(日)、h(時)、m(分)、s(秒) のいずれかを指定します。
0 を指定した場合は、接続時間による自動発信制限を行いません。

<diallock>

自動発信を制限するかどうかを指定します。

- yes
接続時間の上限に達した場合に、以降の自動発信を制限します。
ただし、回線の手動接続は、制限の対象外となります。
- no
接続時間の上限に達した場合に、自動発信を制限しません。
省略した場合は、yes を指定したものとみなされます。

【説明】

データ通信において、通信時間の累計が接続時間の上限に達した場合に、自動発信を制限するかどうかを設定します。

<diallock>の指定内容にかかわらず、<time>で指定した上限接続時間を超えて自動発信しようとした場合は、syslog が採取されます。

【未設定時】

接続時間による自動発信制限を行わないとみなされます。

```
wan <number> isdn limit time 0d yes
```

3.2.6 wan isdn accept

[機能]

装置単位の着信可否の設定

[入力形式]

```
wan [<number>] isdn accept <mode>
```

[パラメタ]

<number>

- wan 定義番号
wan 定義番号として、0 を指定してください。
省略した場合は、0 を指定したものとみなされます。

<mode>

データ着信時の動作について指定します。

- enable
“5.2.22 remote ap called accept” の設定に従います。
- disable
着信を禁止します。着信をすべて拒否し、発信専用の装置となります。

[説明]

外部から本装置に着信したときの動作について設定します。

[未設定時]

“5.2.22 remote ap called accept” の設定に従うものとみなされます。

```
wan <number> isdn accept enable
```

3.2.7 wan isdn autodial

【機能】

装置単位の自動発信可否の設定

【入力形式】

wan [<number>] isdn autodial <mode>

【パラメタ】

<number>

- wan 定義番号
wan 定義番号として、0 を指定してください。
省略した場合は、0 を指定したものとみなされます。

<mode>

自動的にダイヤルするかどうかについて指定します。

- enable
“5.1.3 remote autodial” の設定に従います。
- disable
本装置からの自動ダイヤルを禁止します。どのような通信データが発生した場合も、自動的にダイヤルしません。

【説明】

通信データが発生したときに、自動的にダイヤルするかどうかを設定します。

【未設定時】

“5.1.3 remote autodial” の設定に従います。

```
wan <number> isdn autodial enable
```

3.2.8 wan isdn keeptime

【機能】

テレホーダイ機能デフォルト時間の設定

【入力形式】

wan [<number>] isdn keeptime <time>

【パラメタ】

<number>

- wan 定義番号
wan 定義番号として、0 を指定してください。
省略した場合は、0 を指定したものとみなされます。

<time>

- 初期時間
回線接続保持の初期時間を、0 秒～86400 秒(1 日)の範囲で指定します。単位は、d(日)、h(時)、m(分)、s(秒)のいずれかを指定します。

【説明】

テレホーダイ機能(回線接続保持機能)が時間指定なしで起動された場合のデフォルト時間を設定します。0 が設定された場合にはデフォルト時間はないものとして扱われ、timercctl コマンドによりテレホーダイ機能(回線接続保持時間)を起動するときに接続保持時間の指定が必要となります。

【注意】

この定義は、wan line コマンドで isdn が設定されている最も<number>の小さい wan 定義に設定されているものだけが有効です。

【未設定時】

デフォルト時間はありません。

```
wan <number> isdn keeptime 0d
```

3.3 フレームリレー回線情報 (オプション)

3.3.1 wan fr lmi (オプション)

[機能]

フレームリレーにおける PVC 状態確認手順の設定

[入力形式]

wan [<number>] fr lmi <type>

[パラメタ]

<number>

- wan 定義番号
wan 定義番号として、0 を指定してください。
省略した場合は、0 を指定したものとみなされます。

<type>

PVC 状態確認の手順を指定します。

- q933a
ITU-T Q.933 Annex A に準拠します。
- off
PVC 状態確認を行いません。

[説明]

フレームリレーでの PVC 状態確認手順を、網契約に合わせて設定します。

[注意]

このコマンドは、Si-R30 拡張オプションソフトウェアをインストールしたときに使用できます。

- この機能を使用する場合は、通信事業者との契約が必要です。
- PVC 状態確認の双方向手順はサポートしていません。

[未設定時]

ITU-T Q.933 Annex A に準拠するとみなされます。

wan <number> fr lmi q933a

3.3.2 wan fr fecn (オプション)

[機能]

FECN による輻輳制御の設定

[入力形式]

```
wan [<number>] fr fecn <mode>
```

[パラメタ]

<number>

- wan 定義番号
wan 定義番号として、0 を指定してください。
省略した場合は、0 を指定したものとみなされます。

<mode>

FECN によって輻輳制御を行うかどうかを指定します。

- on
輻輳制御を行います。
- off
輻輳制御を行いません。

[説明]

FECN による輻輳制御について設定します。

[注意]

このコマンドは、Si-R30 拡張オプションソフトウェアをインストールしたときに使用できます。

[未設定時]

FECN によって輻輳制御を行うとみなされます。

```
wan <number> fr fecn on
```

3.3.3 wan fr becn (オプション)

[機能]

BECN による輻輳制御の設定

[入力形式]

wan [<number>] fr becn <mode>

[パラメタ]

<number>

- wan 定義番号
wan 定義番号として、0 を指定してください。
省略した場合は、0 を指定したものとみなされます。

<mode>

BECN によって輻輳制御を行うかどうかを指定します。

- on
輻輳制御を行います。
- off
輻輳制御を行いません。

[説明]

BECN による輻輳制御について設定します。

[注意]

このコマンドは、Si-R30 拡張オプションソフトウェアをインストールしたときに使用できます。

[未設定時]

BECN によって輻輳制御を行うとみなされます。

```
wan <number> fr becn on
```

3.3.4 wan fr cllm (オプション)

[機能]

CLLM による輻輳制御の設定

[入力形式]

```
wan [<number>] fr cllm <mode>
```

[パラメタ]

<number>

- wan 定義番号
wan 定義番号として、0 を指定してください。
省略した場合は、0 を指定したものとみなされます。

<mode>

CLLM によって輻輳制御を行うかどうかを指定します。

- on
輻輳制御を行います。
- off
輻輳制御を行いません。

[説明]

CLLM による輻輳制御について設定します。

[注意]

このコマンドは、Si-R30 拡張オプションソフトウェアをインストールしたときに使用できます。

[未設定時]

CLLM によって輻輳制御を行うとみなされます。

```
wan <number> fr cllm on
```

